

小中学生音楽鑑賞会 はじめての オペラ



2025年 10 月 1 日 (水)

【午後の部】 14:00～14:50 (13:30開場)

柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

出演

笛田 博昭 (テノール) 湯沢町出身
鈴木 愛美 (ソプラノ) 長岡市出身
三浦 克次 (バス・バリトン) 加茂市出身
渡辺 康 (テノール) 燕市出身
朝岡 聡 (解説)
石野 真穂 (ピアノ)
平野 桂子 (合唱指揮)
新国立劇場合唱団



朝岡 聡



笛田 博昭



鈴木 愛美



三浦 克次



渡辺 康

プログラム

モーツァルト：歌劇『後宮からの逃走』より
モーツァルト：歌劇『魔笛』より
プッチーニ：歌劇『トゥーランドット』より

※内容は変更になる場合があります



石野 真穂



平野 桂子



新国立劇場合唱団

音楽鑑賞会とは？

プロの演奏者による質の高い演奏をホールで聴く素晴らしいことを知ってもらおうと、柏崎市内全小学5年生と中学1年生を対象に、毎年開催している音楽鑑賞会です。



座席について

中学生（午後の部）の座席が優先となるため、一般の方は2階席となります。小中学生音楽鑑賞会での観覧となりますことをあらかじめご了承ください。



チケット 全席指定(2階席のみ)
一般2,000円 ※未就学児入場不可

チケット一般発売
8/29 (金) WEB・電話 10:00～ (窓口 13:00～)
※アルフォーレ賛助会員優先発売は8/28(木)

プレイガイド・お問合せ
柏崎市文化会館アルフォーレ
電話・窓口 (10:00～18:00) WEB購入はこちら▶



●ご予約・ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。●車椅子席をご希望の方は、アルフォーレまでお問い合わせください。
●都合により、公演内容の一部(出演者、曲目等)を変更する場合がありますのでご了承ください。

主催／新潟県、柏崎市教育委員会、柏崎市文化会館アルフォーレ、令和7年度にいがた芸術・文化育成プロジェクト実行委員会
共催／柏崎市 特別協賛／**NAMICS** 後援／(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、柏崎商工会議所



小中学生音楽鑑賞会 はじめてのオペラ



©Takafumi Ueno

笛田 博昭 テノール Hiroaki Fueda

湯沢町出身。名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修了。第37回イタリア声楽コンクール・イタリア大使杯受賞。第9回マダム・バタフライ世界コンクール及び第50回日伊声楽コンクール第1位。2012年フェッラーラ国際コンクール第1位、その際にフェッラーラ歌劇場にて『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ役でイタリアデビューを果たす。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。国内外において多数のオペラやコンサートに出演し称賛を得る。2023年三河市民オペラ公演『アンドレア・シェニエ』では表題役において卓越した声と表現で絶賛を博した歌唱が記憶に新しい。2017年よりNHK ニューイヤーパーオペラコンサートに出演。NHKクラシック音楽サイト「ららら♪クラブ」のファン投票「あなたの好きな日本人オペラ歌手」第一位を獲得。ドラマティックながら天から降りてくるような響きの声を持ち、且つ大胆な中にも繊細な表現で聴衆を魅了する唯一無二の存在である。藤原歌劇団団員。新潟県湯沢町特別観光大使。



鈴木 愛美 ソプラノ Manami Suzuki

長岡市出身。国立音楽大学卒業、同大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修員としてミラノにて研鑽を積み、野村財団奨学生、ローム・ミュージック・ファンデーションの助成にて、ウィーン国立音楽大学大学院を最優秀の成績で修了。ウィーン・シェーンブルン宮殿劇場、楽友協会コンサート等に出演。オペラでは、新国立劇場『サロメ』奴隷、『魔弾の射手』花嫁付添いの乙女、びわ湖ホール『リゴレット』小姓等に出演。ハイドン「天地創造」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、フォーレ「レクイエム」、信時潔「海道東征」等のソリストを務める他、秋川雅史氏とのコンサート共演や「ラ・フォル・ジュルネ新潟」出演等、幅広く活躍。19年1stアルバム《ウィーンわが夢の街》、24年には第11代歌のお兄さん横山だいすけ氏をゲストに迎えた2ndアルバム《花〜唱歌でめぐる四季〜》をリリース。文部科学大臣賞、朝日新聞社賞受賞。新潟大学音楽科准教授。二期会会員。WEB: <https://suzukimanami.com>



三浦 克次 バス・バリトン Katsuji Miura

加茂市出身。明治大学法学部卒業後、東京声専音楽学校卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部在籍中に藤原歌劇団公演『仮面舞踏会』に抜擢されてデビューした後、国際ロータリー財団の奨学生としてローマに留学。ローマで『奥様女中』、スルモーナ市立歌劇場で『秘密の結婚』に出演。帰国後、藤原歌劇団公演『トスカ』『ドン・ジョヴァンニ』『愛の妙薬』『清教徒』等に出演。東急五島記念文化財団オペラ新人賞の受賞により再びローマで研鑽を積み、ヴァッレ劇場でロッシーニのオペラ『アディナ』に出演。新国立劇場にも、『ナブッコ』『蝶々夫人』『こうもり』『カルメン』『マノン・レスコー』『セヴィリアの理髪師』『トスカ』『エウゲニー・オネーギン』『夕鶴』『椿姫』『ラ・ボエーム』などに出演。日本のオペラでは『かぐや姫』『山椒太夫』『美女と野獣』『静と義経』『紅天女』『あやめ』などに出演。2003年NHKニューイヤーパーオペラコンサート出演。パスティアーニ国際声楽コンクール第3位。第5回村松賞、第21回ジロー・オペラ賞受賞。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。昭和音楽大学講師。千葉市在住。 <https://miura.music-web.info>



渡辺 康 テノール Yasushi Watanabe

燕市出身。国立音楽大学卒業。イタリア国立パルマ音楽院修了。「ドン・パスクワーレ」エルネスト等でボローニャ歌劇場に出演をはじめ、イタリア各地に出演し好評を博す。藤原歌劇団には、21年「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョでデビューの後、22年「コジ・ファン・トゥッテ」25年「ロメオとジュリエット」で出演し、いずれも好評を博す。日本オペラ協会には、20年「紅天女」藤原照房でデビューし、「咲く〜もう一度生まれ変わるために〜」タロー、「ニンゲル」才三で出演。また、ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン2022にて、ロッシーニ「オテッロ」のドージェ/ゴンドラ乗りに出演。その他、藤沢オペラ「湖上の美人」「魔笛」等に出演。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。



朝岡 聡 解説 Satoshi Asaoka

フリーアナウンサー、コンサートソムリエ。テレビ朝日時代は久米宏「ニュースステーション」初代スポーツキャスターや各種情報番組を担当。フリーになってからはTV・ラジオ・CMに加え、クラシックやオペラのコンサートの企画・司会にもフィールドを広げて活動中。その進行は、興味深いテーマを軽妙なタッチで語るのも特徴で、芸術の裾野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。全国のオーケストラに加え、国内外のアーティストとも共演多数。著書に「いくぞ！オペラな街」（小学館）、「イタリア 麗しの庭園と館をめぐる旅」（産業編集センター）など。日本ロッシーニ協会副会長。日本音楽教育文化振興会理事。東京藝術大学客員教授。



石野 真穂 ピアノ Maho Ishino

桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学アンサンブル・ディプロマ修了。その後、笹川日仏財団の研修生として、パリ市立シャトレ劇場に於いてサビーヌ・ヴァタンのもと、コレペティトゥーアの研鑽を積み、帰国後はコレペティトゥーアとして活動し、新国立劇場、二期会、びわ湖ホール、日生劇場などのオペラ公演に関わる。また声楽を中心とする共演ピアニストとして、多くの演奏家から信頼を得ている。近年では静岡国際オペラコンクールで公式伴奏者を務める他、NHK全国合唱コンクールでの課題曲初演演奏、またオーケストラの鍵盤奏者など、多方面において活躍している。新国立劇場オペラ研修所ピアニスト。二期会オペラ研修所ピアニスト。東京藝術大学非常勤講師。SONY 音楽財団『こどものためのクラシック』登録アーティスト。



平野 桂子 合唱指揮 Keiko Hirano

指揮を秋山和慶・増井信貴・川本統脩・Prof. Maksimilijan Cencić（元ウィーン国立歌劇場指揮者）各氏、ドイツ語発音法をWalter Moore氏に師事。長きにわたりオペラのアシスタント指揮として各地プロジェクトに参加。岩手県久慈市文化会館初公演「ドン・パスクワーレ」をNHK交響楽団他と共演。その後渡欧、Prayer Konservatorium Wienにて優秀者演奏会に選抜、飛び級、ディプロムを最高位取得。オーストリア・エーバーガッティング男声合唱団を指揮、シェーンブルン宮殿にてモーツァルト「レクイエム」に合唱指導及びオルガン奏者としてウィーン・フォルクス歌劇場ソリストと共演。渡欧中イタリア・ブッセートにてオペラ「アイダ」のアシスタント指揮としてスカラ座合唱団を率いる。またウィーン現地に於て日本オーストリア友好150周年事業に参加。日本オペラ振興会にて2022年に新作オペラ「咲く」を指揮。文京区民オペラでは2018年より「愛の妙薬」「椿姫」「カルメン」「ラ・ボエーム」公演指揮。



新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus

新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年10月に開場した。新国立劇場合唱団も年間を通じて行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を開始。新国立劇場で上演されるシーズン公演の出演に加え、2007年からは劇場外からの出演依頼の声に応じて外部公演への出演を開始した。個々のメンバーは高水準の歌唱力と演技力を有しており、合唱団としての優れたアンサンブル能力と豊かな声量は、公演ごとに共演する出演者、指揮者、演出家・スタッフはもとより、国内外のメディアからも高い評価を得ている。